

大学番号：私立259

[令和2年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

届出

神戸常盤大学 保健科学部 診療放射線学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人玉田学園
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人本部企画調整課

職名・氏名 コタニ シンイチ
小谷 伸一

電話番号 078-611-1838

（夜間） 078-611-1838

FAX 078-643-4361

e-mail kikaku@kobe-tokiwa.ac.jp

- （注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例） 〇〇大学 △△学部 □□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

保健科学部

＜診療放射線学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

別 紙 ・・・・・・・・神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 SD委員会規程

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人玉田学園

(2) 大 学 名

神戸常盤大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒653-0838

兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(アサヒ ジロウ) 旭 次郎 (昭和61年4月)		
学 長	(ハマダ ミチオ) 濱田 道夫 (平成29年4月)		
学 部 長	(カマダ ミチコ) 鎌田 美智子 (平成27年4月)		
学科長等	(マツダ マサフミ) 松田 正文 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健科学部 診療放射線学科 学士 (診療放射線学)	保健衛生学関係 (看護学関係及び リハビリテー ション関係を除 く。)	4 年	75 人	年次 一人	300 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	75人 (ー) [若干名]	人	人 人	人	人 人	人	人 人	人	人	人	1.14倍	一 倍	
志願者数	186 (ー) [ー]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	183 (ー) [ー]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	113 (ー) [ー]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	86 (ー) [ー]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.14												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	86 [-] (-)	— [-] (-)									
2 年次											
3 年次											
4 年次											
計	86 [-] (-)										

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	86 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
	人	人		人	人	
				人	人	
				人	人	
				人	人	
				人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{86} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健科学部 診療放射線学科>

(1)－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 び の 群 の 目 的	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	2				2	1			19
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	1				2	1			14
	大学道場miniゼミA	1前		1		2	1				16
	大学道場miniゼミB	1後		1		2	1				11
	超ときわびと	1後		1			1				1
	小計（5科目）	-	3	3	0	2	3	1	0	0	46
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1				1				
	情報メディア演習	1後	1								2
	健康スポーツ科学Ⅰ	1前		1							6
	健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1							2
	健康スポーツ科学Ⅲ	1後		1							2
	アカデミックライティング	1後	1								2
	コミュニケーション論	1・2・3・4期	1			1					
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1			1					
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								1
	英語Aa (Communicative English Basic)	1・2・3・4期		1							2
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	1・2・3・4期		1							2
	英語B (Presentation)	2・3・4期		1		1					
	英語C (Cultural Studies)	2・3・4期		1							1
	英語D (Academic English)	3・4期		1		1					
	手話コミュニケーション	1・2・3・4期		1							1
	いのちと共生	1後		1							7
	人類と地球環境	1前		1							1
	暮らしの中の数学	1・2・3・4期		1			1				
	統計学	1・2・3・4期		1			1				1
	暮らしの中の物理学	1・2・3・4期			1		1				
	現代社会と化学	1・2・3・4期		1							1
	人体のふしぎ	1・2・3・4期		1							7
	現代社会と生命科学	1・2・3・4期		1							1
	安全学	1・2・3・4期		1							7
	人類と農学	1・2・3・4期		1							1
	プログラミング入門	1・2・3・4期		1		1					
	日本国憲法	1・2・3・4期		2							1
	哲学	1・2・3・4期		1							1
	生命と倫理	1・2・3・4期		2							2
	芸術文化論	1・2・3・4期		1		1					3
	文学	1・2・3・4期		1							1
	日本通史	1・2・3・4期		1							1
	世界の時事	1・2・3・4期		1							1
	現代社会学	1・2・3・4期		1							1
	経済学	1・2・3・4期		1							1
	心理臨床学	1・2・3・4期		2							1
	人間関係論	1・2・3・4期		1							1
	教育と人間	1・2・3・4期		1							2
	小計（38科目）	-	9	31	1	2	2	0	0	0	48

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 び の 群 の 目 的	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	2				1	2	1		23
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	1				1	2	1		14
	大学道場miniゼミA	1前		1		2	0				15
	大学道場miniゼミB	1後		1		1	1				10
	超ときわびと	1後		1			1				1
	小計（5科目）	-	3	3	0	2	3	1	0	0	50
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1				1				
	情報メディア演習	1後	1								1
	健康スポーツ科学Ⅰ	1前		1							5
	健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1							4
	健康スポーツ科学Ⅲ	1後		1							2
	アカデミックライティング	1後	1								2
	コミュニケーション論	1・2・3・4期	1			1					
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1			1					
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								1
	英語Aa (Communicative English Basic)	1・2・3・4期		1							2
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	1・2・3・4期		1							2
	英語B (Presentation)	2・3・4期		1		1					
	英語C (Cultural Studies)	2・3・4期		1							1
	英語D (Academic English)	3・4期		1		1					
	手話コミュニケーション	1・2・3・4期		1							1
	いのちと共生	1後		1							7
	人類と地球環境	1前		1							1
	暮らしの中の数学	1・2・3・4期		1			1				
	統計学	1・2・3・4期		1			1				1
	暮らしの中の物理学	1・2・3・4期			1						1
	現代社会と化学	1・2・3・4期		1							1
	人体のふしぎ	1・2・3・4期		1			1				4
	現代社会と生命科学	1・2・3・4期		1							1
	安全学	1・2・3・4期		1							7
	人類と農学	1・2・3・4期		1							1
	プログラミング入門	1・2・3・4期		1		1					
	日本国憲法	1・2・3・4期		2							1
	哲学	1・2・3・4期		1							1
	生命と倫理	1・2・3・4期		2							1
	芸術文化論	1・2・3・4期		1		1	1				
	文学	1・2・3・4期		1							1
	日本通史	1・2・3・4期		1							1
	世界の時事	1・2・3・4期		1							1
	現代社会学	1・2・3・4期		1							1
	経済学	1・2・3・4期		1							1
	心理臨床学	1・2・3・4期		2							1
	人間関係論	1・2・3・4期		1							1
	教育と人間	1・2・3・4期		1							4
	小計（38科目）	-	9	31	1	2	2	0	0	0	46

創造実践科目群	地域との協働A	1・2・3・4後		1						2
	地域との協働B	2・3・4後		1						2
	災害とまちづくり	1・2・3・4後		1						4
	コミュニティデザイン	1・2・3・4後		1		1				4
	ライフデザイン	1・2・3・4後		1						1
	小計（5科目）	—	0	5	0	0	1	0	0	12
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1			1				
	解剖学Ⅰ	1前	2							1
	解剖学Ⅱ	1後	2							1
	基礎生物学	1前			1					1
	基礎化学	1前			1					1
	生理学	1後	2							1
	病理学	2前	1							1
	腫瘍学	2前	1			1				
	生化学	1後	1							1
	薬理学	2前	1							1
	公衆衛生学	1後	1							1
	臨床技術入門	1後	1			1	1			3
	小計（12科目）		13	0	2	2	1	0	0	11
保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	1			2				2
	診療放射線技術学概論	1前	1					1		
	放射線生物学Ⅰ	2前	1					1		
	放射線生物学Ⅱ	2後	1					1		
	放射線物理学Ⅰ	1後	1			1				
	放射線物理学Ⅱ	2前	1			1				
	放射化学Ⅰ	1後	1							1
	放射化学Ⅱ	2前	1							1
	医用工学Ⅰ（電気工学）	1前	1				1			
	医用工学Ⅱ（電子工学）	1後	1				1			
	医用工学実習	2後	1				1			1
	基礎数学	1前			1		1			
	応用数学	1後	2				1			
	医用機器概論	3前		1						1
	放射線計測学	2前	2			1				
	放射線計測学実習	2後	1			3				1
	救急医学概論	3後	1				1			
	対人援助論	1後	1							1
	医療英語	2後	1			1				
	小計（19科目）	—	19	1	1	5	3	2	0	6
診療画像技術学	X線撮影技術学Ⅰ（一般撮影）	2前	2					1		
	X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査）	2後	2					1		
	X線撮影技術学Ⅲ（CT）	2後	2				1			
	診療画像検査学Ⅰ（MR）	2後	2					1		
	診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底）	2後	2							1
	診療画像技術学実習	3前	1				1	2	1	1
	画像診断機器学Ⅰ	2前	2							1
	画像診断機器学Ⅱ	2前	2							1
	画像診断機器学実習Ⅰ	2後	1				1			5
	画像診断機器学実習Ⅱ	3前	1				1		1	4
	小計（10科目）	—	17	0	0	0	1	3	1	5

創造実践科目群	地域との協働A	1・2・3・4後		1						4
	地域との協働B	2・3・4後		1						2
	災害とまちづくり	1・2・3・4後		1						2
	コミュニティデザイン	1・2・3・4後		1			1			4
	ライフデザイン	1・2・3・4後		1						1
	小計（5科目）	—	0	5	0	0	1	0	0	12
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1			1				
	解剖学Ⅰ	1前	2							1
	解剖学Ⅱ	1後	2							1
	基礎生物学	1前			1					1
	基礎化学	1前			1					1
	生理学	1後	2				1			
	病理学	2前	1							1
	腫瘍学	2前	1			1				
	生化学	1後	1							1
	薬理学	2前	1							1
	公衆衛生学	1後	1							1
	臨床技術入門	1後	1			1	1	1		3
	小計（12科目）		13	0	2	2	1	1	0	10
保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	1			2				2
	診療放射線技術学概論	1前	1					1		
	放射線生物学Ⅰ	2前	1					1		
	放射線生物学Ⅱ	2後	1					1		
	放射線物理学Ⅰ	1後	1			1				
	放射線物理学Ⅱ	2前	1			1				
	放射化学Ⅰ	1後	1							1
	放射化学Ⅱ	2前	1							1
	医用工学Ⅰ（電気工学）	1前	1					1		
	医用工学Ⅱ（電子工学）	1後	1					1		
	医用工学実習	2後	1					1		1
	基礎数学	1前			1			1		
	応用数学	1後	2					1		
	医用機器概論	3前		1						1
	放射線計測学	2前	2			1				
	放射線計測学実習	2後	1			3				1
	救急医学概論	3後	1					1		
	対人援助論	1後	1							1
	医療英語	2後	1			1				
	小計（19科目）	—	19	1	1	5	3	2	0	6
診療画像技術学	X線撮影技術学Ⅰ（一般撮影）	2前	2					1		
	X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査）	2後	2					1		
	X線撮影技術学Ⅲ（CT）	2後	2					1		
	診療画像検査学Ⅰ（MR）	2後	2					1		
	診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底）	2後	2							1
	診療画像技術学実習	3前	1					1	2	1
	画像診断機器学Ⅰ	2前	2							1
	画像診断機器学Ⅱ	2前	2							1
	画像診断機器学実習Ⅰ	2後	1					1		5
	画像診断機器学実習Ⅱ	3前	1					1	1	4
	小計（10科目）	—	17	0	0	0	1	3	1	5

画像診断学	画像解剖学	3前	1					1			
	画像解剖学演習	3前	1					1			
	画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）	3前	1							4	
	画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器他）	3前	1							4	
	小計（4科目）	—	4	0	0	0	0	1	0	0	7
核医学検査	核医学検査技術学Ⅰ	2前	2			1					
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	2			1					
	核医学検査機器学	3前	1			1					
	核医学機能解析学	3前	1			1					
	小計（4科目）	—	6	0	0	1	0	0	0	0	
放射線治療	放射線治療技術学Ⅰ	3前	2			1					
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2			1					
	放射線治療計測学	3前	1			1					
	放射線治療機器学	2後	1			1					
	放射線治療物理学	2後	1			1					
	小計（5科目）	—	7	0	0	1	0	0	0	0	
医用画像情報学	放射線写真学	2前	1								1
	医用画像工学	2後	2			1					
	医用画像工学実習	3前	2			1		1			
	医療情報学	2前	1					1			
	小計（4科目）	—	6	0	0	1	0	1	0	0	1
放射線安全管理	放射線安全管理学	3前	2			1					
	放射線安全管理学実習	3後	1			3		1			4
	関係法規	3前	1			1					
	小計（3科目）	—	4	0	0	3	0	1	0	0	4
	医療安全管理学	3前	1					1			
医療安全管理学	医療安全管理学実習	3後	1			1		2	1		2
	小計（2科目）	—	2	0	0	1	0	2	1	0	2
臨床実習	臨床実習	3後	12			3	1	3	1		
	小計（1科目）	—	12	0	0	3	1	3	1	0	
総合・発展技術	医療コミュニケーション	1後		1		1					
	臨床基礎実習	3後	1			3	1	3	1		
	IPW（多職種連携）論	3後	1			3					3
	死亡時画像診断学（オートプシー・イメージング）	4前		1							1
	放射線カウンセリング学	4前		1			1				
	災害医療学	4前		1		1					3
	メディカルデータサイエンス	4前		1		3	1	1			3
	先進医学・技術学	4前		1							8
	医療経済・経営学	4前		1		1					1
	医療文献読解	4前		1		3		1	1		1
	アカデミックプレゼンテーション	4前		1		2	1				
	診療放射線技術学総合演習Ⅰ	4前		1		4	2	3	1		3
	診療放射線技術学総合演習Ⅱ	4後		2		4	2	3	1		3
	国際保健医療活動Ⅰ	4前		1							3
	国際保健医療活動Ⅱ	4前		1							5
	卒業研究	4通		4		4	3	3			
	小計（16科目）	—	10	10	0	7	3	3	1	0	27
合計（128科目）			—	112	50	4	7	3	3	1	133
卒業要件及び履修方法											
必修科目112単位、選択科目12単位以上 合計124単位以上修得しなければならない。											

画像診断学	画像解剖学	3前	1					1			
	画像解剖学演習	3前	1					1			
	画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）	3前	1							4	
	画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器他）	3前	1							4	
	小計（4科目）	—	4	0	0	0	0	1	0	0	7
核医学検査	核医学検査技術学Ⅰ	2前	2			1					
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	2			1					
	核医学検査機器学	3前	1			1					
	核医学機能解析学	3前	1			1					
	小計（4科目）	—	6	0	0	1	0	0	0	0	
放射線治療	放射線治療技術学Ⅰ	3前	2			1					
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2			1					
	放射線治療計測学	3前	1			1					
	放射線治療機器学	2後	1			1					
	放射線治療物理学	2後	1			1					
	小計（5科目）	—	7	0	0	1	0	0	0	0	
医用画像情報学	放射線写真学	2前	1								1
	医用画像工学	2後	2			1					
	医用画像工学実習	3前	2			1		1			
	医療情報学	2前	1					1			
	小計（4科目）	—	6	0	0	1	0	1	0	0	1
放射線安全管理	放射線安全管理学	3前	2			1					
	放射線安全管理学実習	3後	1			3		1			4
	関係法規	3前	1			1					
	小計（3科目）	—	4	0	0	3	0	1	0	0	4
	医療安全管理学	3前	1					1			
医療安全管理学	医療安全管理学実習	3後	1			1		2	1		2
	小計（2科目）	—	2	0	0	1	0	2	1	0	2
臨床実習	臨床実習	3後	12			3	1	3	1		
	小計（1科目）	—	12	0	0	3	1	3	1	0	
総合・発展技術	医療コミュニケーション	1後		1		1					
	臨床基礎実習	3後	1			3	1	3	1		
	IPW（多職種連携）論	3後	1			3					3
	死亡時画像診断学（オートプシー・イメージング）	4前		1							1
	放射線カウンセリング学	4前		1				1			
	災害医療学	4前		1		1					3
	メディカルデータサイエンス	4前		1		3	1	1			3
	先進医学・技術学	4前		1							8
	医療経済・経営学	4前		1		1					1
	医療文献読解	4前		1		3		1	1		1
	アカデミックプレゼンテーション	4前		1		2	1				
	診療放射線技術学総合演習Ⅰ	4前		1		4	2	3	1		3
	診療放射線技術学総合演習Ⅱ	4後		2		4	2	3	1		3
	国際保健医療活動Ⅰ	4前		1							3
	国際保健医療活動Ⅱ	4前		1							5
	卒業研究	4通		4		4	3	3			
	小計（16科目）	—	10	10	0	7	3	3	1	0	27
合計（128科目）			—	112	50	4	7	3	3	1	133
卒業要件及び履修方法											
必修科目112単位、選択科目12単位以上 合計124単位以上修得しなければならない。											

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・IPW（多職種連携）に繋がる重要な科目でもあり、また大学独自の基盤教養科目である「まなぶる」ときわびとⅠ」の更なる充実を図るべく、専任教員等の配置を「准教授2、講師1」から「教授1、准教授2、講師1」に変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼19」から「兼23」に変更。
- ・IPW（多職種連携）に繋がる重要な科目でもあり、また大学独自の基盤教養科目である「まなぶる」ときわびとⅡ」の更なる充実を図るべく、専任教員等の配置を「准教授2、講師1」から「教授1、准教授2、講師1」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「大学道場miniゼミA」専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授2、准教授0」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼16」から「兼15」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「大学道場miniゼミB」専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼11」から「兼10」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「情報メディア演習」兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「健康スポーツ科学Ⅰ」兼任・兼任教員の配置を「兼6」から「兼5」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「健康スポーツ科学Ⅱ」兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・担当教員の都合により、「暮らしの中の物理学」担当教員を専任教員から兼任・兼任教員へ変更。
- ・教育効果に配慮し、「人体のふしぎ」専任教員等の配置を「教授1」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼7」から「兼5」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「生命と倫理」兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「芸術文化論」専任教員等の配置について、「准教授1」を追加。また、兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼0」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「教育と人間」兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「地域との協働A」兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・「地域との協働B」配当年次について、「1・2・3・4通」年開講から「2・3・4通」年開講へ変更。
- ・教育効果に配慮し、「災害とまちづくり」兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の都合により、「生理学」担当教員を兼任・兼任教員から専任教員へ変更。
- ・「臨床技術入門」の更なる充実を図るべく、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
38 科目	48 科目	4 科目	90 科目	38 科目 [0]	48 科目 [0]	4 科目 [0]	90 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	神戸常盤大学短期大学 部(必要面積：2,100 ㎡) 神戸常盤大学附属とき わ幼稚園(基準なし)と 共用		
	校 舎 敷 地	0㎡	19,739.85㎡	918.21㎡		20,658.06㎡			
	運動場用地	0㎡	6,267.00㎡	0㎡		6,267.00㎡			
	小 計	0㎡	26,006.85㎡	918.21㎡		26,925.06㎡			
	そ の 他	0㎡	6,131.64㎡	0㎡		0㎡			
	合 計	0㎡	32,138.49㎡	918.21㎡		33,056.70㎡			
(2)校舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	神戸常盤大学短期大学 部(必要面積：2,450 ㎡)と共用 新館2,506.77㎡（令和 2年度中)		
		(0㎡)	(23,151.22㎡)	(0㎡)		(23,151.22㎡)			
(3)教室等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	神戸常盤大学短期大学 部と共用		
		2 1 室	3 室	2 2 室	2 室 (補助職員 0 人)	1 室 (補助職員 0 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		保健科学部 診療放射線学科			1 4 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 ※図書22,045冊は神戸 常盤大学短期大学部と 共用	
	保健科学部	73,986 [9,745] (73,686 [9,695])	622 [283] (615 [283])	5,237 [3,847] (5,234 [3,844])	20 (0)	1,086 (0)	15 (0)		
	計	73,986 [9,745] (73,686 [9,695])	622 [283] (615 [283])	5,237 [3,847] (5,234 [3,844])	20 (0)	1,086 (0)	15 (0)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		894㎡		138		131,000			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,500㎡		な し					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル、データ ベース、その他経費を 含む。
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	400千円	400千円	図書購入費	千円	400千円	400千円	
		共 同 研 究 費 等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	千円	6,000千円	6,000千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	1,800千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、経常費補助金等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		神戸常盤大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
保健科学部	—	235	3 年次 人 5	930	—	1.11	1.10	令和2	平成20	—	
診療放射線学科	4	75	—	300	学士 (診療放射 線学)	1.14	1.14	令和2	令和2	兵庫県神戸市長田区大 谷町2-6-2	
医療検査学科	4	80	—	320	学士 (医療検査 学)	1.09	1.07	—	平成20	同上	
看護学科	4	75	3 年次 人 5	310	学士 (看護学)	1.12	1.08	—	平成20	同上	
教育学部	—	80	—	320	—	1.10	1.20	—	平成27	—	
こども教育学科	4	80	—	320	学士 (教育学)	1.10	1.20	—	平成27	兵庫県神戸市長田区大 谷町2-6-2	
大学全体	—	315	5	1,250	—	—	—	—	—	—	
大 学 の 名 称		神戸常盤大学短期大学部									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
口腔保健学科	3	70	—	210	短期大学士 (口腔保健 学)	1.07	1.10	—	平成20	兵庫県神戸市長田区大 谷町2-6-2	
看護学科通信制課程	2	150	—	300	短期大学士 (看護学)	0.77	0.72	—	平成17	同上	
大学全体	—	220	—	510	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健科学部 診療放射線学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 正文 (78) <令和2年4月> 医学士
		医学概論 放射線科学概論 腫瘍学 IPW(多職種連携)論 メディカルデータサイエンス 医療文献読解 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
専	教授	今井 方丈 (64) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)
		臨床技術入門 医用画像工学 医用画像工学実習 臨床実習 医療安全管理学実習 臨床基礎実習 災害医療学 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	谷口 英明 (63) <令和2年4月> 文学士
		コミュニケーション論 芸術文化論 医療コミュニケーション

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 正文 (79) <令和2年4月> 医学士
		医学概論 放射線科学概論 腫瘍学 IPW(多職種連携)論 メディカルデータサイエンス 医療文献読解 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 人体のふしぎ 生理学
専	教授	今井 方丈 (65) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)
		臨床技術入門 医用画像工学 医用画像工学実習 臨床実習 医療安全管理学実習 臨床基礎実習 災害医療学 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	谷口 英明 (64) <令和2年4月> 文学士
		コミュニケーション論 芸術文化論 医療コミュニケーション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山崎 麻由美 (58) ＜令和2年4月＞ 文学修士 Master of Education in TESOL (米国)
		英語コミュニケーションⅠ 大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 医療英語 英語B (Presentation) 英語D (Academic English) アカデミックプレゼンテーション
専	教授	南 利明 (52) ＜令和3年4月＞ 修士（医療科学）
		放射線計測学実習 放射線治療物理学 放射線治療機器学 放射線治療技術学Ⅰ 放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療計測学 臨床実習 放射線安全管理学実習 臨床基礎実習 IPW（多職種連携）論 医療経済・経営学 医療文献読解 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	高久 圭二 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		放射線科学概論 大学道場miniゼミA 放射線物理学Ⅰ 大学道場miniゼミB 放射線物理学Ⅱ 放射線計測学 放射線計測学実習 関係法規 放射線安全管理学 放射線安全管理学実習 メディカルデータサイエンス 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山崎 麻由美 (59) ＜令和2年4月＞ 文学修士 Master of Education in TESOL (米国)
		英語コミュニケーションⅠ 大学道場miniゼミA 医療英語 英語B (Presentation) 英語D (Academic English) アカデミックプレゼンテーション
専	教授	南 利明 (53) ＜令和3年4月＞ 修士（医療科学）
		放射線計測学実習 放射線治療物理学 放射線治療機器学 放射線治療技術学Ⅰ 放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療計測学 臨床実習 放射線安全管理学実習 臨床基礎実習 IPW（多職種連携）論 医療経済・経営学 医療文献読解 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	高久 圭二 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		放射線科学概論 大学道場miniゼミA 放射線物理学Ⅰ 大学道場miniゼミB 放射線物理学Ⅱ 放射線計測学 放射線計測学実習 関係法規 放射線安全管理学 放射線安全管理学実習 メディカルデータサイエンス 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究 まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	對間 博之 (48) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学） 核医学検査技術学Ⅰ 放射線計測学実習 核医学検査技術学Ⅱ 核医学検査機器学 核医学機能解析学 臨床実習 放射線安全管理学実習 臨床基礎実習 IPW（多職種連携）論 メディカルデータサイエンス 医療文献読解 ※ アカデミックプレゼンテーション 卒業研究
		關 雅幸 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（理学） 医用工学Ⅰ（電気工学） 情報基礎 大学道場miniゼミA 医用工学Ⅱ（電子工学） 大学道場miniゼミB 医用工学実習 暮らしの中の物理学 プログラミング入門 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	高松 邦彦 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（医学） 基礎数学 統計学 まなぶる▶ときわびとⅠ 応用数学 まなぶる▶ときわびとⅡ メディカルデータサイエンス 卒業研究 暮らしの中の数学 超ときわびと コミュニティデザイン

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	對間 博之 (48) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学） 核医学検査技術学Ⅰ 放射線計測学実習 核医学検査技術学Ⅱ 核医学検査機器学 核医学機能解析学 臨床実習 放射線安全管理学実習 臨床基礎実習 IPW（多職種連携）論 メディカルデータサイエンス 医療文献読解 ※ アカデミックプレゼンテーション 卒業研究
		關 雅幸 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（理学） 医用工学Ⅰ（電気工学） 情報基礎 医用工学Ⅱ（電子工学） 大学道場miniゼミB 医用工学実習 プログラミング入門 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	高松 邦彦 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（医学） 基礎数学 統計学 まなぶる▶ときわびとⅠ 応用数学 まなぶる▶ときわびとⅡ メディカルデータサイエンス 卒業研究 暮らしの中の数学 超ときわびと コミュニティデザイン 芸術文化論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木村 英理 (43) ＜令和2年4月＞ 学士（診療放射線技術学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ 臨床技術入門 まなぶる▶ときわびとⅡ 画像診断機器学実習Ⅰ X線撮影技術学Ⅲ（CT） 診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅱ 臨床実習 臨床基礎実習 救急医学概論 放射線カウンセリング学 アカデミックプレゼンテーション 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	伊藤 彰 (46) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		診療放射線技術学概論 まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 医療情報学 診療画像検査学Ⅰ（MR） 医用画像工学実習 臨床実習 臨床基礎実習 メディカルデータサイエンス 医療文献読解 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	安富 蔵人 (39) ＜令和3年4月＞ 修士（医科学）
		X線撮影技術学Ⅰ（一般撮影） X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査） 診療画像技術学実習 画像解剖学演習 医療安全管理学 画像解剖学 臨床実習 放射線安全管理学実習 医療安全管理学実習 臨床基礎実習 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木村 英理 (44) ＜令和2年4月＞ 学士（診療放射線技術学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ 臨床技術入門 まなぶる▶ときわびとⅡ 画像診断機器学実習Ⅰ X線撮影技術学Ⅲ（CT） 診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅱ 臨床実習 臨床基礎実習 救急医学概論 放射線カウンセリング学 アカデミックプレゼンテーション 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	伊藤 彰 (47) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		診療放射線技術学概論 まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 医療情報学 診療画像検査学Ⅰ（MR） 医用画像工学実習 臨床実習 臨床基礎実習 メディカルデータサイエンス 医療文献読解 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床技術入門
専	講師	安富 蔵人 (40) ＜令和3年4月＞ 修士（医科学）
		X線撮影技術学Ⅰ（一般撮影） X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査） 診療画像技術学実習 画像解剖学演習 医療安全管理学 画像解剖学 臨床実習 放射線安全管理学実習 医療安全管理学実習 臨床基礎実習 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	桂 千広 (32) ＜令和3年4月＞ 修士（農学）
		放射線生物学Ⅰ 診療画像技術学実習 放射線生物学Ⅱ 臨床実習 医療安全管理学実習 臨床基礎実習 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	助教	北川 薫 (25) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅱ 臨床実習 医療安全管理学実習 臨床基礎実習 医療文献読解 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	教授	濱田 道夫 (69) ＜令和2年4月＞ doctora de 3e cycle (Histoire) (フランス)
		経済学 いのちと共生
兼任	教授	坂本 秀生 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ 先進医学・技術学
兼任	教授	上田 國寛 (79) ＜令和2年9月＞ 医学博士
		生命と倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	桂 千広 (33) ＜令和3年4月＞ 修士（農学）
		放射線生物学Ⅰ 診療画像技術学実習 放射線生物学Ⅱ 臨床実習 医療安全管理学実習 臨床基礎実習 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ 卒業研究
専	助教	北川 薫 (26) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅱ 臨床実習 医療安全管理学実習 臨床基礎実習 医療文献読解 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	教授	濱田 道夫 (70) ＜令和2年4月＞ doctora de 3e cycle (Histoire) (フランス)
		経済学 いのちと共生
兼任	教授	坂本 秀生 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ 先進医学・技術学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	栗岡 誠司 (67) ＜令和2年9月＞ 修士（教育学）
		大学道場miniゼミB 現代社会と化学 基礎化学 放射線科学概論
兼任	教授	安藤 啓司 (67) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		人体のふしぎ
兼任	教授	畠 榮 (66) ＜令和3年4月＞ 工学博士
		病理学
兼任	教授	井本 しおん (64) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		人体のふしぎ
兼任	教授	林 伸英 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミA
兼任	教授	栃倉 匡文 (61) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		大学道場miniゼミA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	栗岡 誠司 (68) ＜令和2年9月＞ 修士（教育学）
		大学道場miniゼミB 現代社会と化学 基礎化学 放射線科学概論
兼任	教授	安藤 啓司 (68) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		大学道場miniゼミA
兼任	教授	畠 榮 (67) ＜令和3年4月＞ 工学博士
		病理学
兼任	教授	林 伸英 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミA
兼任	教授	栃倉 匡文 (62) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		大学道場miniゼミA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松元 英理子 (60) ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミB 現代社会と生命科学
兼任	教授	新谷 路子 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		大学道場miniゼミA 人体のふしぎ
兼任	教授	澤田 浩秀 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミA 生理学
兼任	教授	大澤 佳代 (54) ＜令和4年9月＞ 博士（保健学）
		IPW（多職種連携）論
兼任	教授	布引 治 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミA
兼任	教授	鈴木 高史 (51) ＜令和2年4月＞ 博士（第二基礎医学）
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松元 英理子 (61) ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミB 現代社会と生命科学 基礎生物学
兼任	教授	新谷 路子 (56) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		大学道場miniゼミA 人体のふしぎ
兼任	教授	大澤 佳代 (55) ＜令和4年9月＞ 博士（保健学）
		IPW（多職種連携）論
兼任	教授	布引 治 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミA
兼任	教授	鈴木 高史 (52) ＜令和2年4月＞ 博士（第二基礎医学）
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長尾 厚子 (71) ＜令和2年9月＞ 修士（人間科学）
		いのちと共生
兼任	教授	岩越 美恵 (69) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ
兼任	教授	畑 吉節未 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		大学道場miniゼミA
兼任	教授	柳本 有二 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミA 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ
兼任	教授	庄司 靖枝 (59) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		大学道場miniゼミA
兼任	教授	生島 祥江 (59) ＜令和2年4月＞ 社会学修士
		大学道場miniゼミA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長尾 厚子 (72) ＜令和2年9月＞ 修士（人間科学）
		いのちと共生
兼任	教授	岩越 美恵 (70) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ
兼任	教授	柳本 有二 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミA 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ
兼任	教授	庄司 靖枝 (60) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		大学道場miniゼミA
兼任	教授	生島 祥江 (60) ＜令和2年4月＞ 社会学修士
		大学道場miniゼミA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	尾崎 雅子 (56) ＜令和2年4月＞ 修士（人間科学）
		大学道場miniゼミA 対人援助論
兼任	教授	中田 康夫 (52) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 超ときわびと いのちと共生 統計学 コミュニティデザイン メディカルデータサイエンス
兼任	教授	大森 雅人 (57) ＜令和2年9月＞ 博士（学校教育学）
		情報メディア演習
兼任	教授	光成 研一郎 (48) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 大学道場miniゼミB 教育と人間
兼任	教授	中田 尚美 (59) ＜令和2年9月＞ 博士（教育学）
		大学道場miniゼミB
兼任	教授	牛頭 哲宏 (57) ＜令和2年4月＞ 修士（学校教育学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	尾崎 雅子 (57) ＜令和2年4月＞ 修士（人間科学）
		大学道場miniゼミA 対人援助論
兼任	教授	中田 康夫 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 超ときわびと いのちと共生 統計学 コミュニティデザイン メディカルデータサイエンス
兼任	教授	大森 雅人 (58) ＜令和2年9月＞ 博士（学校教育学）
		情報メディア演習
兼任	教授	光成 研一郎 (49) ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 大学道場miniゼミB 教育と人間
兼任	教授	中田 尚美 (60) ＜令和2年9月＞ 博士（教育学）
		大学道場miniゼミB
兼任	教授	牛頭 哲宏 (58) ＜令和2年4月＞ 修士（学校教育学）
		アカデミックライティング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	橋本 好市 (51) ＜令和2年9月＞ 修士（学術）
		大学道場miniゼミB
兼任	准教授	坊垣 美也子 (61) ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミB 生化学
兼任	准教授	鵜飼 知鶴 (62) ＜令和2年4月＞ 修士（臨床教育学）
		大学道場miniゼミA
兼任	准教授	魚崎 須美 (59) ＜令和2年9月＞ 修士（地域看護学）
		大学道場miniゼミB
兼任	准教授	藤原 桜 (56) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		まなぶる▶ときわびとⅡ
兼任	准教授	黒野 利佐子 (54) ＜令和2年9月＞ Master of Science in Nursing (米国)
		大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	橋本 好市 (52) ＜令和2年9月＞ 修士（学術）
		大学道場miniゼミB
兼任	准教授	坊垣 美也子 (62) ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		大学道場miniゼミB 生化学
兼任	准教授	鵜飼 知鶴 (63) ＜令和2年4月＞ 修士（臨床教育学）
		大学道場miniゼミA
兼任	准教授	魚崎 須美 (60) ＜令和2年9月＞ 修士（地域看護学）
		大学道場miniゼミB
兼任	准教授	黒野 利佐子 (55) ＜令和2年9月＞ Master of Science in Nursing (米国)
		国際保健医療活動Ⅱ 大学道場miniゼミA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	島内 敦子 (54) ＜令和2年4月＞ 看護学士
		大学道場miniゼミA
兼任	准教授	山口 有美 (53) ＜令和2年9月＞ 博士（学術）
		大学道場miniゼミB 医療安全管理学実習
兼任	准教授	岩切 由紀 (52) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		大学道場miniゼミA
兼任	准教授	谷口 由佳 (49) ＜令和2年4月＞ 博士（看護学）
		大学道場miniゼミA IPW（多職種連携）論
兼任	准教授	笹井 隆邦 (59) ＜令和2年4月＞ 農学修士
		人類と地球環境 基礎生物学
兼任	准教授	山下 敦子 (48) ＜令和2年9月＞ 修士（学校教育学）
		アカデミックライティング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	島内 敦子 (55) ＜令和2年4月＞ 看護学士
		大学道場miniゼミA
兼任	准教授	山口 有美 (54) ＜令和2年9月＞ 博士（学術）
		大学道場miniゼミB 医療安全管理学実習
兼任	准教授	岩切 由紀 (53) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		大学道場miniゼミA
兼任	准教授	立垣 祐子 (48) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	准教授	笹井 隆邦 (60) ＜令和2年4月＞ 農学修士
		人類と地球環境
兼任	教授	山下 敦子 (49) ＜令和2年9月＞ 修士（学校教育学）
		アカデミックライティング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田村 周二 (61) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒
		まなぶる▶ときわびとⅡ 人体のふしぎ 診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底） 診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	講師	杉山 育代 (61) ＜令和2年4月＞ 学士（教養）
		人体のふしぎ
兼任	講師	澁谷 雪子 (44) ＜令和2年4月＞ 学士（薬学）
		地域との協働B
兼任	講師	澤村 暢 (38) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	講師	中村 晶子 (56) ＜令和2年4月＞ 修士（都市政策学）
		健康スポーツ科学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田村 周二 (62) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒
		まなぶる▶ときわびとⅡ 人体のふしぎ 診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底） 診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	講師	杉山 育代 (62) ＜令和2年4月＞ 学士（教養）
		人体のふしぎ
兼任	講師	澁谷 雪子 (45) ＜令和2年4月＞ 学士（薬学）
		地域との協働B
兼任	講師	澤村 暢 (39) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永島 聡 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 大学道場miniゼミA 心理臨床学 人間関係論
兼任	講師	中村 由果理 (44) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ
兼任	講師	江口 実希 (37) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	講師	近藤 みづき (45) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永島 聡 (55) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 大学道場miniゼミA 心理臨床学 人間関係論
兼任	講師	原 希代 (46) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	講師	中村 由果理 (45) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）
		まなぶる▶ときわびとⅡ
兼任	准教授	近藤 みづき (46) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅲ 健康スポーツ科学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大城 亜水 (32) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 情報メディア演習 地域との協働A
兼任	講師	京極 重智 (31) ＜令和2年4月＞ 修士（人間科学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ 地域との協働B
兼任	助教	三浦 真希子 (37) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ
兼任	助教	溝越 祐志 (31) ＜令和2年4月＞ 修士（人間健康科学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 公衆衛生学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大城 亜水 (33) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 地域との協働A
兼任	講師	京極 重智 (32) ＜令和2年4月＞ 修士（人間科学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ 地域との協働B まなぶる▶ときわびとⅡ
兼任	助教	今西 麻樹子 (54) ＜令和2年4月＞ 学士（保健衛生学）
		まなぶる▶ときわびとⅡ
兼任	助教	島袋 梢 (40) ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	助教	三浦 真希子 (38) ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	講師	溝越 祐志 (32) ＜令和2年4月＞ 修士（人間健康科学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 公衆衛生学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	佐野 太亮 (29) ＜令和2年4月＞ 学士(医療検査学)
		まなぶる▶ときわびとⅡ メディカルデータサイエンス
兼任	助教	尾崎 優子 (48) ＜令和2年4月＞ 修士(学術)
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	助教	紀ノ岡 浩美 (47) ＜令和2年4月＞ 学士(看護学)
		まなぶる▶ときわびとⅠ 国際保健医療活動Ⅱ
兼任	助教	坂井 利衣 (37) ＜令和2年4月＞ 修士(保健看護学)
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	助教	松岡 真菜 (36) ＜令和2年4月＞ 学士(看護学)
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	助教	光安 早織 (36) ＜令和2年4月＞ 修士(看護学)
		まなぶる▶ときわびとⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	佐野 太亮 (30) ＜令和2年4月＞ 学士(医療検査学)
		まなぶる▶ときわびとⅡ メディカルデータサイエンス まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	助教	尾崎 優子 (49) ＜令和2年4月＞ 修士(学術)
		まなぶる▶ときわびとⅠ 地域との協働A
兼任	助教	紀ノ岡 浩美 (48) ＜令和2年4月＞ 学士(看護学)
		まなぶる▶ときわびとⅠ 国際保健医療活動Ⅱ 地域との協働A
兼任	助教	坂井 利衣 (38) ＜令和2年4月＞ 修士(保健看護学)
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	助教	松岡 真菜 (37) ＜令和2年4月＞ 学士(看護学)
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	助教	光安 早織 (37) ＜令和2年4月＞ 修士(看護学)
		まなぶる▶ときわびとⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田 幸恵 (67) ＜令和2年4月＞ 薬学博士
		健康スポーツ科学Ⅰ
兼任	講師	八木 孝和 (50) ＜令和2年4月＞ 博士(歯学)
		健康スポーツ科学Ⅰ 先進医学・技術学
兼任	講師	柳田 学 (49) ＜令和2年4月＞ 博士(歯学)
		人体のふしぎ IPW（多職種連携）論
兼任	講師	中村 美紀 (47) ＜令和2年4月＞ 修士（口腔保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ
兼任	講師	伴仲 謙欣 (46) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 安全学 現代社会学 地域との協働A
兼任	講師	横山 麻衣 (26) ＜令和2年4月＞ 短期大学士(口腔保健)
		まなぶる▶ときわびとⅠ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田 幸恵 (68) ＜令和2年4月＞ 薬学博士
		健康スポーツ科学Ⅰ
兼任	講師	八木 孝和 (51) ＜令和2年4月＞ 博士(歯学)
		健康スポーツ科学Ⅰ 先進医学・技術学
兼任	講師	柳田 学 (50) ＜令和2年4月＞ 博士(歯学)
		人体のふしぎ IPW（多職種連携）論
兼任	講師	伴仲 謙欣 (47) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ 安全学 現代社会学 地域との協働A 教育と人間

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	千石 真理 (55) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		いのちと共生 英語Aa (Communicative English Basic)
兼任	講師	畑中 道代 (67) ＜令和2年9月＞ 医学博士
		いのちと共生

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	氏橋 貴子 (45) ＜令和2年4月＞ 学士（経営学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	講師	川野 亜希 (27) ＜令和2年4月＞ 修士（口腔保健学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	講師	内橋 一恵 (39) ＜令和2年4月＞ 修士（学術）
		まなぶる▶ときわびとⅠ まなぶる▶ときわびとⅡ
兼任	講師	小崎 遼介 (24) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		まなぶる▶ときわびとⅠ
兼任	講師	千石 真理 (56) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		いのちと共生 英語Aa (Communicative English Basic)
兼任	講師	畑中 道代 (68) ＜令和2年9月＞ 医学博士
		いのちと共生

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森 正敬 (78) ＜令和2年9月＞ 医学博士
		いのちと共生
兼任	講師	江上 芳子 (77) ＜令和2年9月＞ 専門学校卒
		いのちと共生
兼任	講師	柳 敏晴 (72) ＜令和2年4月＞ 体育学士
		健康スポーツ科学Ⅱ
兼任	講師	神田 大輔 (44) ＜令和2年9月＞ 博士(文学)
		アカデミックライティング
兼任	講師	小西 千鶴 (54) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅡ 英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語C (Cultural Studies)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森 正敬 (79) ＜令和2年9月＞ 医学博士
		いのちと共生
兼任	講師	江上 芳子 (78) ＜令和2年9月＞ 専門学校卒
		いのちと共生
兼任	講師	柳 敏晴 (73) ＜令和2年4月＞ 体育学士
		健康スポーツ科学Ⅱ
兼任	講師	小野 昌二 (55) ＜令和2年4月＞ 修士(学校教育学)
		健康スポーツ科学Ⅱ
兼任	講師	小西 千鶴 (55) ＜令和2年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーションⅡ 英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語C (Cultural Studies)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Carol K. Dallos (60) <令和2年9月> Bachelor of Science in Business Administration (米国)
		英語Ab (Communicative English Intermediate)
兼任	講師	浅野 京子 (71) <令和2年4月> 専門学校卒
		手話コミュニケーション
兼任	講師	金 千秋 (67) <令和2年4月> 理学士
		安全学 災害とまちづくり
兼任	講師	西岡 伸紀 (61) <令和2年4月> 教育学修士
		安全学
兼任	講師	鍵本 敦 (56) <令和2年4月> 理学士
		安全学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Carol K. Dallos (61) <令和2年9月> Bachelor of Science in Business Administration (米国)
		英語Ab (Communicative English Intermediate)
兼任	講師	浅野 京子 (72) <令和2年4月> 専門学校卒
		手話コミュニケーション
兼任	講師	田中 正義 (76) <令和2年4月> 理学博士
		暮らしの中の物理学
兼任	講師	金 千秋 (68) <令和2年4月> 理学士
		安全学
兼任	講師	西岡 伸紀 (62) <令和2年4月> 教育学修士
		安全学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伴 俊作 (65) ＜令和2年4月＞ 経済学士 安全学
兼任	講師	柴山 慶太 (45) ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職) 安全学 日本国憲法
兼任	講師	本田 英理 (49) ＜令和2年4月＞ - 安全学
兼任	講師	大菅 誠司 (68) ＜令和2年4月＞ 農学修士 人類と農学
兼任	講師	中野 康次郎 (52) ＜令和2年4月＞ 文学修士 哲学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	馬場 栄二 (54) ＜令和2年4月＞ 法学士 安全学
兼任	講師	伴 俊作 (66) ＜令和2年4月＞ 経済学士 安全学
兼任	講師	柴山 慶太 (46) ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職) 安全学 日本国憲法
兼任	講師	本田 英理 (50) ＜令和2年4月＞ - 安全学
兼任	講師	大菅 誠司 (69) ＜令和2年4月＞ 農学修士 人類と農学
兼任	講師	中野 康次郎 (53) ＜令和2年4月＞ 文学修士 哲学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	児玉 正幸 (69) ＜令和2年9月＞ 博士(文学)
		生命と倫理
兼任	講師	富士 莊貴 (49) ＜令和2年4月＞ 学士(文学)
		芸術文化論
兼任	講師	佐竹 隆幸 (58) ＜令和2年4月＞ 博士(経営学)
		芸術文化論
兼任	講師	善竹 隆司 (45) ＜令和2年4月＞ —
		芸術文化論
兼任	講師	藪 葉子 (47) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		文学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森本 誠一 (42) ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		生命と倫理
兼任	講師	藪 葉子 (48) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		文学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	片山 正彦 (45) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		日本通史
兼任	講師	山田 勝久 (75) ＜令和2年9月＞ 文学修士
		世界の時事
兼任	講師	関本 雅子 (69) ＜令和2年4月＞ 医学士
		教育と人間
兼任	講師	足立 了平 (65) ＜令和2年9月＞ 歯学博士
		災害とまちづくり 災害医療学
兼任	講師	宮田 英和 (63) ＜令和2年9月＞ 工学士
		災害とまちづくり
兼任	講師	長谷部 治 (46) ＜令和2年9月＞ 社会福祉学学士
		災害とまちづくり

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	片山 正彦 (46) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		日本通史
兼任	講師	山田 勝久 (76) ＜令和2年9月＞ 文学修士
		世界の時事
兼任	講師	関本 雅子 (70) ＜令和2年4月＞ 医学士
		教育と人間
兼任	講師	足立 了平 (66) ＜令和2年9月＞ 歯学博士
		災害医療学 教育と人間

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	室崎 友輔 (39) ＜令和2年9月＞ 修士(人間科学)
		コミュニティデザイン ライフデザイン
兼任	講師	西 修 (59) ＜令和2年9月＞ 工学修士
		コミュニティデザイン
兼任	講師	藤岡 健 (49) ＜令和2年9月＞ 法学士
		コミュニティデザイン
兼任	講師	永田 徹 (73) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ
兼任	講師	藤原央樹 (35) ＜令和3年4月＞ 学士(薬学)
		薬理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	室崎 友輔 (40) ＜令和2年9月＞ 修士(人間科学)
		コミュニティデザイン ライフデザイン まなぶる▶ときわびとⅠ 災害とまちづくり
兼任	講師	中村 欣哉 (65) ＜令和2年4月＞ —
		災害とまちづくり
兼任	講師	西 修 (60) ＜令和2年9月＞ 工学修士
		コミュニティデザイン
兼任	講師	藤岡 健 (50) ＜令和2年9月＞ 法学士
		コミュニティデザイン
兼任	講師	永田 徹 (74) ＜令和2年4月＞ 医学博士
		解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ
兼任	講師	藤原央樹 (36) ＜令和3年4月＞ 学士(薬学)
		薬理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日下 亜起子 (55) ＜令和2年9月＞ 学士（保健衛生学）
		臨床技術入門
兼任	講師	古東 正宜 (60) ＜令和2年9月＞ 専門学校卒
		臨床技術入門
兼任	講師	村本 誠一郎 (59) ＜令和2年9月＞ 専門学校卒
		臨床技術入門
兼任	講師	武川 公 (72) ＜令和2年9月＞ 学術博士
		放射線科学概論 医用工学実習
兼任	講師	橋本 信雄 (69) ＜令和2年9月＞ 文学修士
		放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	講師	遠藤 宏和 (43) ＜令和4年4月＞ 学士(医用電子工学)
		医用機器概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日下 亜起子 (56) ＜令和2年9月＞ 学士（保健衛生学）
		臨床技術入門
兼任	講師	古東 正宜 (61) ＜令和2年9月＞ 専門学校卒
		臨床技術入門
兼任	講師	村本 誠一郎 (60) ＜令和2年9月＞ 専門学校卒
		臨床技術入門
兼任	講師	武川 公 (73) ＜令和2年9月＞ 学術博士
		放射線科学概論 医用工学実習
兼任	講師	橋本 信雄 (70) ＜令和2年9月＞ 文学修士
		放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	講師	遠藤 宏和 (44) ＜令和4年4月＞ 学士(医用電子工学)
		医用機器概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	清水 敬二 (40) ＜令和3年9月＞ 博士(医療技術学)
		放射線計測学実習
兼任	講師	上野 好洋 (57) ＜令和3年9月＞ 農学士
		画像診断機器学Ⅰ 画像診断機器学Ⅱ 画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	講師	青木 啓祐 (26) ＜令和3年9月＞ 専門学校卒
		画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ
兼任	講師	岩元 幸雄 (64) ＜令和3年9月＞ 専門学校卒
		画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 放射線安全管理学実習
兼任	講師	小島 幸恵 (42) ＜令和3年9月＞ 学士(診療放射線学)
		画像診断機器学実習Ⅰ
兼任	講師	神田 知紀 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	清水 敬二 (41) ＜令和3年9月＞ 博士(医療技術学)
		放射線計測学実習
兼任	講師	上野 好洋 (58) ＜令和3年9月＞ 農学士
		画像診断機器学Ⅰ 画像診断機器学Ⅱ 画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	講師	青木 啓祐 (27) ＜令和3年9月＞ 専門学校卒
		画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ
兼任	講師	岩元 幸雄 (65) ＜令和3年9月＞ 専門学校卒
		画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 放射線安全管理学実習
兼任	講師	小島 幸恵 (43) ＜令和3年9月＞ 学士(診療放射線学)
		画像診断機器学実習Ⅰ
兼任	講師	神田 知紀 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 雅人 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄） 画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器 他）
兼任	講師	上嶋 英介 (37) ＜令和4年4月＞ 博士(血管内治療学)
		画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）
兼任	講師	前田 隆樹 (47) ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）
兼任	講師	野上 宗伸 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器 他）
兼任	講師	祖父江 慶太郎 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器 他）
兼任	講師	岡田 卓也 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器 他）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 雅人 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄） 画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器 他）
兼任	講師	上嶋 英介 (38) ＜令和4年4月＞ 博士(血管内治療学)
		画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）
兼任	講師	前田 隆樹 (48) ＜令和4年4月＞ 学士(医学)
		画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）
兼任	講師	野上 宗伸 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器 他）
兼任	講師	祖父江 慶太郎 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器 他）
兼任	講師	岡田 卓也 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器 他）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹内 浩美 (67) ＜令和3年4月＞ -
		放射線写真学
兼任	講師	半部 英敏 (55) ＜令和4年9月＞ 学士(保健衛生学)
		放射線安全管理学実習
兼任	講師	山口 和也 (62) ＜令和4年9月＞ 学術修士
		放射線安全管理学実習
兼任	講師	樽岡 照知 (60) ＜令和4年9月＞ 準学士
		放射線安全管理学実習
兼任	講師	清水 康光 (41) ＜令和4年9月＞ 準学士
		医療安全管理学実習
兼任	講師	小西 淳也 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		死亡時画像診断学（オートプシー・イ メージング）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹内 浩美 (68) ＜令和3年4月＞ -
		放射線写真学
兼任	講師	半部 英敏 (56) ＜令和4年9月＞ 学士(保健衛生学)
		放射線安全管理学実習
兼任	講師	山口 和也 (63) ＜令和4年9月＞ 学術修士
		放射線安全管理学実習
兼任	講師	樽岡 照知 (61) ＜令和4年9月＞ 準学士
		放射線安全管理学実習
兼任	講師	清水 康光 (42) ＜令和4年9月＞ 準学士
		医療安全管理学実習
兼任	講師	小西 淳也 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		死亡時画像診断学（オートプシー・イ メージング）

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中山 伸一 (64) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		災害医療学
兼任	講師	中田 正明 (46) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		災害医療学
兼任	講師	玉川 裕夫 (65) ＜令和5年4月＞ 歯学博士
		メディカルデータサイエンス
兼任	講師	小寺 吉衛 (67) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		先進医学・技術学
兼任	講師	五月女 康作 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		先進医学・技術学
兼任	講師	山本 鋭二郎 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(医療安全管理学)
		先進医学・技術学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中山 伸一 (65) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		災害医療学
兼任	講師	中田 正明 (47) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		災害医療学
兼任	講師	玉川 裕夫 (66) ＜令和5年4月＞ 歯学博士
		メディカルデータサイエンス
兼任	講師	小寺 吉衛 (68) ＜令和4年4月＞ 工学博士
		先進医学・技術学
兼任	講師	五月女 康作 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		先進医学・技術学
兼任	講師	山本 鋭二郎 (48) ＜令和4年4月＞ 修士(医療安全管理学)
		先進医学・技術学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐守 友博 (72) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		先進医学・技術学
兼任	講師	山田 真規子 (47) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		先進医学・技術学
兼任	講師	水田 真平 (39) ＜令和4年4月＞ 保健学修士
		先進医学・技術学
兼任	講師	蓬萊 洋一 (55) ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)
		医療経済・経営学
兼任	講師	山村 憲一郎 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		医療文献読解
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (67) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐守 友博 (73) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		先進医学・技術学
兼任	講師	山田 真規子 (48) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		先進医学・技術学
兼任	講師	水田 真平 (40) ＜令和4年4月＞ 保健学修士
		先進医学・技術学
兼任	講師	蓬萊 洋一 (56) ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)
		医療経済・経営学
兼任	講師	山村 憲一郎 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		医療文献読解
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (68) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育内容を充実させるべく、松田正文教授の担当授業科目に「人体のふしぎ」、「生理学」を追加。
- ・教育効果に配慮し、山崎麻由美教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、高久圭二教授の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅠ」、「まなぶる▶ときわびとⅡ」を追加。
- ・教育効果に配慮し、關雅幸准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」、「暮らしの中の物理学」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、高松邦彦准教授の担当授業科目に「芸術文化論」を追加。
- ・教育効果を高めるべく、伊藤彰講師の担当授業科目に「臨床技術入門」を追加。
- ・上田國寛教授の依願退職に伴い削除。
- ・教育効果に配慮し、安藤啓司教授の担当授業科目から「人体のふしぎ」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・井本しおん教授の依願退職に伴い削除。
- ・松元英理子教授の担当授業科目に「基礎生物学」を追加。
- ・澤田浩秀教授の依願退職に伴い削除。
- ・教育効果に配慮し、畑吉節未教授の端と授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、牛頭哲宏教授の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅠ」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「アカデミックライティング」を追加。
- ・教育効果に配慮し、藤原裕准教授の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅡ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、黒野利佐子准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・谷口由佳准教授の依願退職に伴い削除。
- ・教育内容を充実させるべく、立垣祐子准教授を「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、笹井隆邦准教授の担当授業科目から「基礎生物学」を削除。
- ・R2.4.1より山下敦子氏が教授に昇格。
- ・中村晶子講師の依願退職に伴い削除。
- ・教育内容を充実させるべく、て原希代講師を「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、中村由果理講師の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅠ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、江口実希講師の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅠ」を削除。
- ・R2.4.1より近藤みづき氏が准教授に昇格。また、教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「健康スポーツ科学Ⅱ」を追加。
- ・教育効果に配慮し、大城亜水講師の担当授業科目から「情報メディア演習」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、京極重智講師の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅡ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅡ」の科目担当者として今西麻樹子助教を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として島袋梢助教を追加。
- ・教育効果に配慮し、三浦真希子助教の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅡ」を削除。
- ・R2.4.1より溝越祐志氏が講師に昇格。
- ・教育内容を充実させるべく、佐野太亮助教の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅠ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、尾崎優子助教の担当授業科目に「地域との協働A」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、紀ノ岡浩美助教の担当授業科目に「地域との協働A」を追加。
- ・教育効果に配慮し、中村美紀氏の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅠ」、「まなぶる▶ときわびとⅡ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、伴仲謙欣氏の担当授業科目に「教育と人間」を追加。
- ・横山麻衣氏の依願退職に伴い削除。
- ・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として氏橋貴子氏を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として川野亜希氏を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」、「まなぶる▶ときわびとⅡ」の科目担当者として内橋一恵氏を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として小崎遼介氏を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、「健康スポーツ科学Ⅱ」の科目担当者として小野昌二氏を追加。
- ・講師の都合により、神田大輔氏の担当授業科目から「アカデミックライティング」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、「暮らしの中の物理学」の科目担当者として田中正義氏を追加。
- ・教育効果に配慮し、金千秋氏の担当授業科目から「災害とまちづくり」を削除。
- ・講師の都合により、鍵本敦氏を削除。「安全学」の科目担当者の後任として馬場栄二氏を追加。
- ・行使の都合により、児玉正幸氏を削除。「生命と倫理」の科目担当者の後任として森本誠一氏を追加。
- ・講師の都合により、富士莊貴氏を削除。
- ・講師の都合により、佐竹隆幸氏を削除。
- ・講師の都合により、善竹隆司氏を削除。
- ・教育効果に配慮し、足立了平氏の担当授業科目から「災害とまちづくり」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「教育と人間」を追加。
- ・講師の都合により、宮田英和氏を削除。
- ・講師の都合により、長谷部治氏を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、室崎友輔氏の担当授業科目に「災害とまちづくり」、「まなぶる▶ときわびとⅠ」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、「災害とまちづくり」の科目担当者として中村欣哉氏を追加

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) ー② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	3	3	1	14	0	5	3	1	0	9	0
(5)	(3)	(1)	(0)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	3	1	1	14	0	7	3	1	1	14	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	3
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{9} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- (3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

(注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- (3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

43

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)\text{合計(D)}+(F)}{(2)-(2)\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

[illegible]

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該 当 な し

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健科学部 診療放射線学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該 当 な し	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

規程を添付（添付資料）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<令和元年度の実績>

第1回SD委員会（平成31年4月8日 出席率78%）
 第2回SD委員会（令和元年5月13日 出席率89%）
 第3回SD委員会（令和元年6月3日 出席率89%）
 第4回SD委員会（令和元年7月1日 出席率100%）
 第5回SD委員会（令和元年8月5日 出席率78%）

第6回SD委員会（令和元年10月7日 出席率67%）
 第7回SD委員会（令和元年11月11日 出席率78%）
 第8回SD委員会（令和元年12月2日 出席率78%）
 第9回SD委員会（令和2年2月3日 出席率78%）
 第10回SD委員会（令和2年3月9日 出席率100%）

c 委員会の審議事項等

<令和元年度の実績>

第1回SD委員会議題 ①今年度の活動方針と活動計画について ②各部門の役割と担当者について
 第2回SD委員会議題 ①2019年度活動計画について ②関西地区FD連絡協議会関係
 第3回SD委員会議題 ①第3回研修会について ②第4回研修会について
 第4回SD委員会議題 ①第3回研修会について（報告） ②第4回研修会について
 第5回SD委員会議題 ①次年度の研修計画について ②第4回研修会について
 第6回SD委員会議題 ①数理・データサイエンス教育に関する研修会について
 ②各学科における学科内FDの取組について
 第7回SD委員会議題 ①各学科における学科内FDの目標について ②ICT研修会について
 第8回SD委員会議題 ①次年度の研修計画について ②学生参画型FDの取組について
 第9回SD委員会議題 ①今年度のSD委員会の評価について ②次年度の研修計画について
 第10回SD委員会議題 ①今年度の年間活動報告について ②次年度の研修計画について

② 実施状況

a 実施内容

- ・全教職員のための研修会
- ・新任教職員のための研修会
- ・自己点検・評価委員会との連携による授業評価等のPDCA

b 実施方法

- ・年に数回、SD研修会を開催（令和元年度7回）
- ・学内及び学外有識者を迎えての研修会等を開催
- ・学外において開催される研究会等へのSD委員の参加
（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアムひょうご神戸におけるFD研修等）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和元年度の実績＞

【第1回SD研修会】（新任教職員研修）

趣 旨：本学の「建学の精神」や沿革、教育理念を理解し本学教職員として望ましい姿勢を培う機会を作る。

出席率：100%

講演者：濱田道夫（学長）、中村忠司（法人本部長）、畑吉節未（SD委員長）

【第2回SD研修会】（ハラスメント研修）

出席率：71.9%

講演者：広島大学 ハラスメント相談室 横山美栄子 教授

【第3回SD研修会】（学修成果の可視化に向けたIRの活用方法）

趣 旨：①教育の質保障システムにおけるIRの意義を理解できる。

②教職員が蓄積されたデータをどのように活用すべきかを討議する。

出席率：60.4%

講演者：大森雅人（法人本部 IR推進部長）

【第4回SD研修会】（学生参画型FDによる教育の質向上のあり方-新たな学生参画の概念をどう取り入れるか-）

趣 旨：①学生参画型FDの大学教育における意義と先進事項を知る。

②学科ごとのグループワークで効果的な学生の意見の把握方法・教育への反映方法を討議し

講師に助言を得る。

出席率：84.4%

講演者：立命館大学 教育開発推進機構 沖裕貴 教授

【第5回SD研修会】（これからの神戸常盤大学～本学にとっての強み・弱み・機会・脅威～）

講演者：株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 森田翔之介

【第6回SD研修会】（ICT研修）

趣 旨：Excelの初歩的な基本機能を中心とした操作を理解し、成績評価等の作業効率性を高める能力を身に付けるための演習形式の研修

講演者：高松邦彦（教育学部こども教育学科 准教授）

【数理・データサイエンス教育に関する研修会】

趣 旨：数理・データサイエンスにに対する社会ニーズが大きくなっている状況を踏まえ、

本学の「ICT研修」の枠をさらに広げた研修会を開催する。

講演者：大森雅人（教育学部長）、高松邦彦（教育学部こども教育学科 准教授）

【その他の取組】

- ・関西地区FD連絡協議会
- ・大学コンソーシアムひょうご神戸

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

毎回の研修会実施後、参加者を対象としたアンケート調査を実施。収集・分析したアンケート結果は学内Webサイトに公開し、全教職員に対して周知することは勿論のこと、今後の授業改善等へと繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年実施。原則として全科目を対象とし、授業の最終回時に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対しては、前期分と後期分を分け、集計したものを「学生へのメッセージ」のデータとして一つに取りまとめ、Webサイトにて公開するとともに、事務局・図書館等に据え置くなど、学生がいつでも閲覧できるようにしている。また、教員に対しては、教育の質保証に繋げるべく集計結果を教員各人にフィードバックするとともに、年次報告書として取りまとめ、全教職員に配布するなど、情報公開に努めている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

該 当 な し

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人玉田学園は明治41年、神戸市中山手通の地に平凡な市井の人々の善意と熱意で私立家政女学校として誕生した。昭和42年には、「学問と実践、研究と技術を直結することによって、すぐれた職業人、生活にすぐれた能力をもつ有為の人材を養成し、社会的、地域的要請に応えんとするものであること。」を建学の精神に掲げ、神戸常盤短期大学を創設した。その後、平成20年4月に保健科学部医療検査学科及び看護学科の1学部2学科という構成で四年制の神戸常盤大学を創設、さらに平成24年には、教育学部こども教育学科を設置した。開学以降、保健医療・教育の分野において「専門職業人」を養成する大学としてさまざまな分野で活躍できる人材を育成・輩出することにより、地域へ貢献することを広く社会から期待されている。その中で、令和2年4月、保健科学部に新たに診療放射線学科を開設した。これまで、兵庫県内には診療放射線技師養成大学がなく、専門学校の1校のみであったが、文部科学省管轄の養成校としてより良い教育を施したく、当該学科を開設するに至った。当該学科は①社会貢献への意識を持ち、やさしさと倫理観を持った人材、②最新の知識、情報、技術を修得し真のエキスパートになれる人材、③本質を見抜く洞察力和研究的態度を備えた人材、④専門分野近傍の課題等も俯瞰できる力を有し、チーム医療の一翼を担う人材、⑤グローバルな視点で社会の多様なニーズに対応できる人間力のある人材、以上5点の養成する人材像を念頭に診療放射線技師を養成していく。学生の確保については、昨年8月末の指定認可後、全学的に取り組んだ結果、定員75名を充足することができ、併せて、専任教員も計画どおり就任していることから、概ね順調に学科運営がなされている。この結果に甘んじることなく、今後も当該学科の教育理念、並びに養成する人材像等を踏まえ、診療放射線技師養成に鋭意邁進し、ひいては社会貢献へと繋げていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和2年8月末 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行。併せて、本学Webサイトに公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内にて認証評価準備委員会を中心に協議中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部

SD 委員会規程

(趣 旨)

第1条 神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部（以下「本学」という。）は、SD（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その円滑な運営を行うために必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 委員会は、本学教職員及び法人本部職員が大学運営に関する必要な能力及び資質を向上させるために事業（以下「SD 活動」という。）を企画、実施することを目的とする。

(任 務)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる SD 活動を行う。

- (1) 研修会、講演会等の企画、実施及び支援
- (2) 各学科・課程及び各委員会・部署における SD 活動の支援及び必要な調整と情報交換
- (3) 前条の目的を達成するために必要な調査、研究等

2 本学のファカルティ・ディベロップメント活動（以下「FD 活動」という。）のため、委員会に FD 部会を設ける。FD 部会は SD 活動の内容を踏まえ、必要な研修を企画・実施し、また各学科・課程が行う FD 活動を支援する。

(構 成)

第4条 委員会は、学長が委嘱する専任教職員及び法人本部職員をもって構成する。

2 委員会には、委員長及び副委員長を置き、学長が指名する。

3 委員長は、法人本部及び学長と調整しながら委員会の円滑な運営に努め、委員会の議長を務める。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき、または委員長に事故があるとき、その職務を代行する。

5 前条に規定する FD 部会に部会長を置き、部会長及び部会委員を委員長が委員の中から指名する。

(任 期)

第5条 委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(事 務)

第6条 委員会の事務は、法人本部企画調整課及び学術推進課があたる。

(改 廃)

第7条 この規程の改廃は、運営委員会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、平成２９年４月１日より施行する。

この規程は、平成３１年４月１日より施行する。